

お読みいただくのに

下記の引物の項目を照らし合わせると、お手持の製品と対応するソフトウェアのインストール方法がわかります。

# USER'S GUIDE

## ファイク製品ユーザーズガイド

このガイドは、お手持の製品と対応するソフトウェアのインストール方法を説明しています。お読みください。



### 開梱

ラプチャーディスクとその部品を取り出す前に、箱をしっかりと開けよう試みにしてください。



# Fique®

### 自立

ラプチャーディスクは、自立して使用することができます。

ラプチャーディスクのインストールは、お手持の製品と対応するソフトウェアのインストール方法に従って行ってください。

このたびはファイク製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

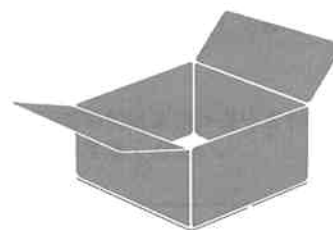
このユーザーズガイドでは、お客さまに、本製品を安全装置として確実にお使いいただくために、「使用上の注意」と「取扱い方法」についてご案内しています。お使いいただく前に必ずお読みのうえ、保管くださいますようお願いいたします。

下記の4つの事項については、ラプチャーディスクを確実にお使いいただくうえで、最も大切なポイントです。



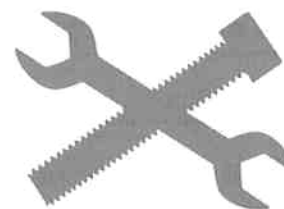
#### 部品

ラプチャーディスクを構成する各部品とその構造およびアセンブリの内容を把握してください。



#### 開梱

ラプチャーディスクとその部品を取り出す際に、傷をつけないよう慎重に扱ってください。



#### 組立て

ラプチャーディスクを専用ホルダーに挿入しプロセス配管内に取り付ける場合、ラプチャーディスクの片締めなどないように、また規定締付けトルク値でトルクレンチを使用してください。



#### 保守点検

ラプチャーディスクの締付けボルトトルク値の点検。ラプチャーディスクの定期交換および漏れや腐食の有無、外觀検査を実施してください。

**⚠ 危険**

取扱いを誤ったら、危険な状況が発生し、死亡または重傷を受ける可能性が極めて高いと想定される場合。

**⚠ 警告**

取扱いを誤ったら、危険な状況が発生し、死亡または重傷を受ける可能性があるとして想定される場合。

**⚠ 注意**

取扱いを誤ったら、危険な状況が発生し、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合。および物的障害のみの発生が想定される場合。

なお **⚠ 注意** に記載した事項でも状況によっては重大な結果を招く可能性が有ります。

## 免責事項

本取扱説明書の記載事項が遵守されない事により生じた不適合については、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

**⚠ 危険**

- ⊖ 取り付けたラブチャーディスクに近寄らないでください。  
プロセス運転中にラブチャーディスクが破裂してラブチャーディスクの飛散もしくは大きな音が出ます。またはプロセス流体が飛び散ります。

**⚠ 警告**

- ⊖ 改造しないでください。性能が発揮できず怪我の原因となります。

**⚠ 注意**

- ⊖ 破裂したラブチャーディスクは刃物のように鋭く開いておりますので取扱いに十分注意してください。
- ⊖ 規定のトルク値でトルクレンチを使用して確実にボルト・ナットを締め付けてください。
- ⊖ ラブチャーディスク及びホルダーアセンブリのシート部にペースト等のシール剤を使用しないでください。
- ⊖ アセンブリの流れ方向を確認して正しい方向に取り付けてください。

## 各部の名称と構造

各部の名称(構造) -----07

## 安全上の注意

本体と付属品の確認と準備 (ホルダー、ラプチャーディスク、組立)

MRK -----08,09

SRL -----10,11

SRX -----12,13

P, PV, CPV, CPV-C -----14,15

HO, HOV, PLHO, PLHOV -----16,17

POLY-SD, SCR D -----18,19

ラプチャーディスクの取付け -----20

配管内にアセンブリを取り付ける

ボルト・ナットの締め付け方法

ラプチャーディスクの性能を十分発揮するための

ボルト・ナットの締め付け順序 -----21

最終検査 -----22

検査 / 保守、破裂時の交換 (ラプチャーディスクの破裂後の交換) -----23

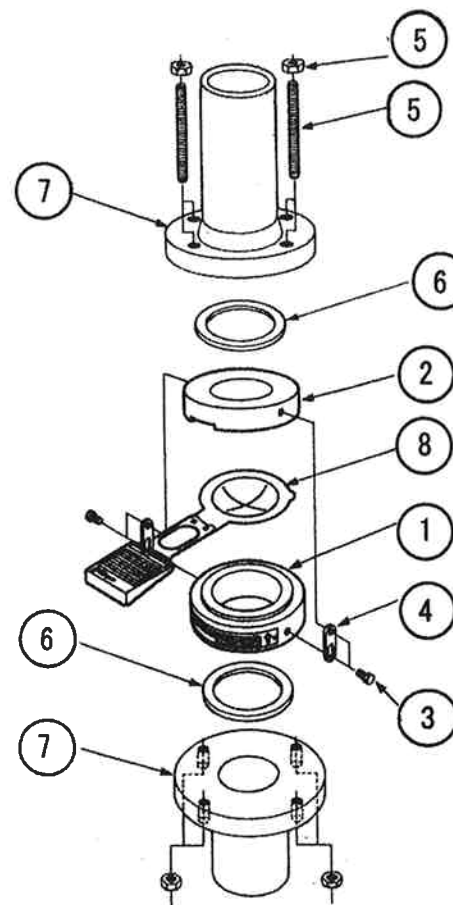
ラプチャーディスクの銘板 (ロットナンバー or シリアルナンバー) -----24

設置上のご案内 -----25

ラプチャーディスクアセンブリの設置方向 -----26

アフターサービスについて -----27

## 各部の名称 (構造)



- ① ベースホルダー (入口側)
- ② ホールドダウン (出口側)
- ③ キャップスクリュー
- ④ ラグ板
- ⑤ スタッドナット
- ⑥ ガasket (特に反転型に使用する場合は、コールドフローのないものを選定してください。)
- ⑦ フランジ
- ⑧ ラプチャーディスク

## 安全上の注意 (誤った使い方をすると安全装置としての性能を十分に発揮できなくなります。)

ラプチャーディスクは、その取付け及び保守を誤りなく確実に実施することでその性能を発揮いたします。

乱暴な扱いやフランジ用ボルトの締め付けトルクが適当でない取付けおよび不十分な保守は人的災害に結びつく重大な原因になるとともに、プラント機器に損害を与える要因になります。ラプチャーディスクが安全装置として確実に性能を発揮するために必ずこの要領書の内容をお守りください。

### ⚠ 危険

取扱いを誤ったら、危険な状況が発生し、死亡または重傷を受ける可能性が極めて高いと想定される場合。

### ⚠ 警告

取扱いを誤ったら、危険な状況が発生し、死亡または重傷を受ける可能性があるとして想定される場合。

### ⚠ 注意

取扱いを誤ったら、危険な状況が発生し、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合。および物的障害のみの発生が想定される場合。

なお **⚠ 注意** に記載した事項でも状況によっては重大な結果を招く可能性があります。

#### 免責事項

本取扱説明書の記載事項が遵守されない事により生じた不適合については、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

### ⚠ 危険

- ❶ 取り付けたラプチャーディスクに近寄らないでください。プロセス運転中にラプチャーディスクが破裂して破裂の飛散もしくは大きな音が出ます。またはプロセス流体が飛び散ります。

### ⚠ 警告

- ❷ 改造しないでください。性能が発揮できず怪我の原因となります。

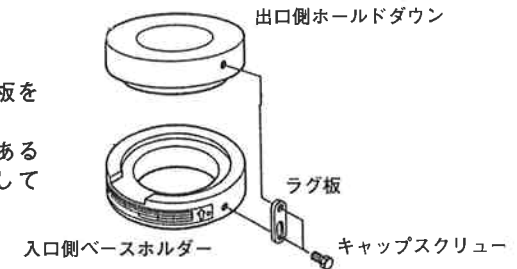
### ⚠ 注意

- ❸ 破裂したラプチャーディスクは刃物のように鋭く開いておりますので取扱いに十分注意してください。
- ❹ 規定のトルク値でトルクレンチを使用して確実にボルトナットを締め付けてください。
- ❺ フランジとホルダー間に使用するガスケットはコールドフローしないものを使用してください。
- ❻ ラプチャーディスク及びホルダーアセンブリのシート部にペースト等のシール剤を使用しないでください。
- ❼ アセンブリの流れ方向を確認して正しい方向に取り付けてください。

## 本体と付属品の確認と準備

### ホルダー

ホルダーを分解してください。  
キャップスクリューをゆるめ、ラグ板をとりはずしホルダーを分解します。  
※入口出口側ホルダーの間に挟んである輸送用の保護カバーを取りはずしてご使用ください。



### ラプチャーディスク

ラプチャーディスクを傷つけないように慎重に箱から出してください。



SHIPPING SUPPORT ONLY.  
DO NOT USE  
FOR RUPTURE DISC.

輸送中の保護カバーです。  
取外してご使用ください。  
(保護カバーなしで納入しているものもあります。)

### ⚠ 注意

ラプチャーディスクを箱から取出す際は、銘板を指で押えながらテープをゆっくりはがしてください。ラプチャーディスクのドーム部に損傷を与えるとその破裂圧力範囲が仕様以外の圧力で破裂する原因になる場合があります。新しいラプチャーディスクでも傷や変形の生じたものは絶対に使用しないでください。

### 組立て

上下ホルダーの間にラプチャーディスクを正しい向きにはさみ込み  
ラグ板をつけ、キャップスクリューで設置します。



入口側ベースホルダー

ホルダーのシート面に異物の付着や損傷がないことを調べてください。  
シート面をきれいにする必要があればアセトン、アルコールなどで洗浄してください。

ラプチャーディスクのドーム部にふれないことベースホルダーの凹部にラプチャーディスクをはめこむ。  
この時、ラプチャーディスクの方向に注意してください。  
必ず銘板等に記入された締め付けトルク値でトルクレンチを使用してボルトナットを締め付けてください。

※ボルトナットの取付け手順はP.21を読んでください。  
※使用するガスケットはコールドフローしないものをお使いください。

## 安全上の注意 (誤った使い方をすると安全装置としての性能を十分に発揮できなくなります。)

ラプチャーディスクは、その取付け及び保守を誤りなく確実に実施することでその性能を発揮いたします。

乱暴な扱いやフランジ用ボルトの締め付けトルクが適当でない取付けおよび不十分な保守は人的災害に結びつく重大な原因になるとともに、プラント機器に損害を与える要因になります。ラプチャーディスクが安全装置として確実に性能を発揮するために必ずこの要領書の内容をお守りください。

**危険** 取扱いを誤ったら、危険な状況が発生し、死亡または重傷を受ける可能性が極めて高いと想定される場合。

**警告** 取扱いを誤ったら、危険な状況が発生し、死亡または重傷を受ける可能性があるとして想定される場合。

**注意** 取扱いを誤ったら、危険な状況が発生し、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合。および物的障害のみの発生が想定される場合。

なお **注意** に記載した事項でも状況によっては重大な結果を招く可能性があります。

### 免責事項

本取扱説明書の記載事項が遵守されない事により生じた不適合については、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

### 危険

- ❶ 取り付けたラプチャーディスクに近寄らないでください。プロセス運転中にラプチャーディスクが破裂して破裂の飛散もしくは大きな音が出ます。またはプロセス流体が飛び散ります。

### 警告

- ❷ 改造しないでください。性能が発揮できず怪我の原因となります。

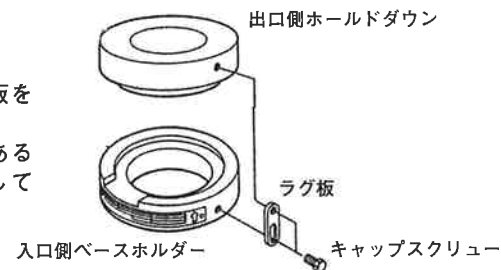
### 注意

- ❸ 破裂したラプチャーディスクは刃物のように鋭く開いておりますので取扱いに十分注意してください。
- ❹ 規定のトルク値でトルクレンチを使用して確実にボルトナットを締め付けてください。
- ❺ フランジとホルダー間に使用するガスケットはコールドフローしないものを使用してください。
- ❻ ラプチャーディスク及びホルダーアセンブリのシート部にペースト等のシール剤を使用しないでください。
- ❼ アセンブリの流れ方向を確認して正しい方向に取り付けてください。

## 本体と付属品の確認と準備

### ホルダー

ホルダーを分解してください。  
キャップスクリューをゆるめ、ラグ板をとりはずしホルダーを分解します。  
※入口出口側ホルダーの間に挟んである輸送用の保護カバーを取りはずしてご使用ください。



### ラプチャーディスク

ラプチャーディスクを傷つけないように慎重に箱から出してください。

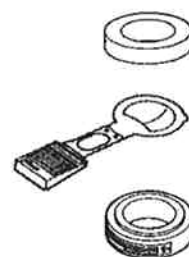


### 注意

ラプチャーディスクを箱から取出す際は、銘板を指で押えながらテープをゆっくりはがしてください。ラプチャーディスクのドーム部に損傷を与えるとその破裂圧力範囲が仕様以外の圧力で破裂する原因になる場合があります。新しいラプチャーディスクでも傷や変形の生じたものは絶対に使用しないでください。

### 組立て

上下ホルダーの間にラプチャーディスクをていねいにはさみ込み  
ラグ板をつけ、キャップスクリューで設置します。



入口側ベースホルダー

ホルダーのシート面に異物の付着や損傷がないことを調べてください。  
シート面をきれいにする必要があればアセトン、アルコールなどで洗浄してください。

ラプチャーディスクのドーム部にふれないこと  
ベースホルダーの凹部にラプチャーディスクをはめこむ。  
この時、ラプチャーディスクの方向に注意してください。  
必ず銘板等に記入された締め付けトルク値でトルクレンチを使用してボルトナットを締め付けてください。

※シール性をよくするためにOリングを使用する事があります。

その場合、入口側と出口側の両ホルダーのディスクシート部の溝にOリングを設置してください。

※ボルトナットの取付け手順はP.21を読んでください。

※使用するガスケットはコールドフローしないものをお使いください。